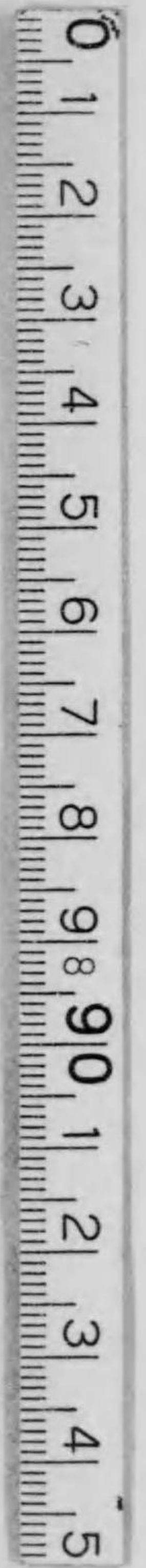


始



14.6
178

財團
法人泉橋慈善病院
第拾五回報告

146
178

財團法人 泉橋慈善病院 第拾五回報告

(自大正十一年一月一日
至同 年十二月卅一日)



東 京 市 泉 田 區 和 泉 一 町 善 地 院
財 法

146-178

寄附行爲

(明治參拾九年拾月參日內務大臣認可)
 (第貳條、第參條、第貳拾貳條、變更)
 (明治拾貳年參月九日內務大臣認可)
 (第肆條、第伍條、第陸條、第拾陸條、變更)
 (明治四拾四年貳月貳拾參日內務大臣認可)
 (第肆條、第伍條、第陸條、第拾陸條、變更)
 (明治四拾五年四月貳拾五日內務大臣認可)
 (第貳條、第拾陸條、變更)
 (大正六年四月廿六日內務大臣認可)
 (第貳條、第肆條、第伍條、第陸條、第拾肆條、第拾伍條、第拾陸條、第拾柒條、第拾捌條、第拾玖條、第廿壹條、第廿貳條、第廿陸條、變更)
 (大正八年四月拾壹日內務大臣認可)

一、目的
 第一條 本法人ハ況ク貧困ナル病者ノ爲メ施療ヲ爲スヲ目的トス

二、名稱
 第二條 本法人ノ名稱ハ財產法人泉橋慈善病院トス

三、事務所
 第三條 本法人ノ事務所ハ東京市神田區和泉町壹番地ニ之ヲ置ク

四、資産
 第四條 本法人ノ資産ハ設立ノ際ニ於ケル三井家總代男爵三井八郎右衛門ヨリノ寄附金壹百萬圓第貳回ノ寄附金貳拾萬圓第參回ノ寄附金五萬圓第四回ノ寄附金百七拾五萬圓合計金參百萬圓トス

第五條 本法人資産參百萬圓ノ内ヲ以テ土地建物器具 設備費ヲ支拂ヒ殘額ヲ維持基本金トス

第六條 第四條ノ設立ノ際ニ於ケル寄附金ハ法人設立許可ノ日ニ於テ又第貳回第參回及第四回ノ寄附金ハ寄附行爲ノ變更ノ日ニ於テ本法人ニ歸屬ス

第七條 本法人ノ維持經費及ヒ施療費用等ハ維持基本金ヲ以テ支拂ス

第八條 維持基本金ハ使用スルコトヲ得ス若シ使用ノ已メタル必要生シタル場合ニハ豫メ評議員會ノ議決ヲ經ルモトス

第九條 本法人ノ目的ヲ贊助シテ金品ノ寄附アルトキハ該額スルコトヲ得但シ寄附金ニシテ特ニ其用途ヲ指定セザレタル限リ、外ハ維持基本金ニ組入ル、モノトス

第十條 維持基本金ハ之ヲ確實ナル銀行ニ預入レ保管セシムルモノトス但シ評議員會ノ議決ヲ以テ國府縣市債ノ證券又ハ確實ナル銀行會社ノ株券又ハ社債ヲ買入レ銀行ナシテ保管セシムルコトヲ得

第十一條 土地建物器具等ノ設備費其他ノ資金ハ其指定費目ニ支出スルマテハ前條ノ方法ニ依リ保管スルモノトス

五、解散

院寄贈本

正
 大
 12.6.21
 寄贈

第十二條 本法人ハ法定ノ解散事由ノ發生スルニ非レハ解散スルコトナシ

第十三條 本法人解散スルニ至リタルトキハ理事ハ豫メ評議員會ノ議決ヲ經テ其實產ヲ本法人ノ目的ト同一若クハ類似ノ目的ヲ有スル他ノ病院其他ノ慈善團體ニ寄附シテ第四條ノ資產寄附者ノ目的ヲ永遠ニ繼續セシムルコトヲ圖ルヘシ

第十四條 本病院病者ノ治療及之ニ關聯スル醫務ハ之ヲ東京帝國大學醫學部長ニ一切委託ス

七、評議員

第十五條 本法人ニ二十名以内ノ評議員ヲ置ク其任期ハ五ヶ年トス但シ滿期重任スルコトヲ妨ケス

第十六條 評議員ハ左ノ資格者ヨリ選任スルモノトシ第一次ニ於テハ設立委員長之ヲ選任シ爾後ハ三井家總代者シクハ總代ノ指定シタル者ニ於テ之ヲ選任ス

一 設立委員

二 東京帝國大學醫學部ニ屬スル教授

三 第四條資產寄附者

四 三井家同族三井家重役若クハ重役タリシモノ

五 社會ニ聲望闊歴アルモノ

第十七條 評議員ノ互選ヲ以テ評議員會長壹名副會長參名以内ヲ

定ム

評議員會長ハ評議員會ヲ招集シ其議長トナル會長事故アルトキハ副會長ノ壹名其互選ニヨリ會長ノ職務ヲ代理ス

第十八條 評議員ニ缺員ヲ生シタル時ハ第十六條ノ資格者ヨリ評議員會ノ議決ニ依リ評議員會長之ヲ選任ス

前項ニ依ル補缺者ノ任期ハ本任者ノ任期ト共ニ終了ス

第十九條 評議員三名以上若クハ理事又ハ監事ノ請求アルトキハ臨時評議員會ヲ招集スルモノトス但シ第一次ノ評議員會ハ設立委員長之ヲ招集ス

第二十條 評議員會ハ全員ノ過半数出席スルニ非サレハ議事ヲ開クコトヲ得ス議事ハ出席者ノ過半数ニ依リ之ヲ決ス

第二十一條 評議員會長副會長ノ任期ハ五ヶ年トス

八、理事及監事

第二十二條 本法人ヲ代表シ其事務ヲ處理セシムル爲メ理事七名以内ヲ置ク

第二十三條 理事ハ評議員會ノ議決ニ依リ評議員會長之ヲ選任ス

第二十四條 理事ハ左ノ事項ニ就テハ評議員會ノ議決ヲ經テ之ヲ處理スヘシ

一 資產ノ管理運用及ヒ處分ニ關スル事項

二 豫算及ヒ決算

三 豫算外ノ支出

四 債權債務ノ設定ニ關スル事項

五 土地建物ノ購入賣却若クハ新築大修繕等ニ關スル事項

六 其他重要事項

第二十五條 理事ハ毎半季其執務シタル業務及ヒ資産ノ現況ヲ監事及評議員會ニ報告スヘシ

第二十六條 本法人ノ資産及ヒ業務ノ狀況ヲ監査セシムル爲メ監事三名以内ヲ置ク

第二十七條 監事ハ評議員會ノ議決ニ依リ評議員會長之ヲ選任ス

第二十八條 監事ハ資産ノ狀況若クハ業務ノ執行ニ付不整ノ廉アルコトヲ發見シタル時ハ之ヲ評議員會及主務官廳ニ報告スヘシ

第二十九條 理事及ヒ監事ハ評議員會ニ出席シテ發言スルコトヲ得但シ議決ノ數ニ加ハルコトヲ得ス

第三十條 理事ノ任期ハ五ヶ年トシ監事ノ任期ハ三ヶ年トス但シ滿期重任スルコトヲ妨ケス

理事及ヒ監事ノ補缺者ノ任期ハ本任者ノ任期ト共ニ終了ス

九、寄附行爲ノ變更

第三十一條 本寄附行爲ニ定メタル事項ニシテ第一條第五條及ヒ第八條ノ趣旨ニ反セサル範圍内ニ於テ評議員會ノ議決ニ依リ必要ト認メタルトキハ主務官廳ノ認可ヲ經テ之ヲ變更スルコトヲ得

第三十二條 前條ノ評議員會ハ全員ノ四分ノ三以上出席シ其四分ノ三以上ノ同意ニ依リテ議決ス

(前文後文共ニ略ス)

財團 泉橋慈善病院沿革略

明治三十九年三井家ニ於テ時勢ニ鑑ミ貧困ニシテ醫藥ヲ得ルノ資ナキ病者ノ爲メ施療ヲ爲スノ目的ヲ以テ市内ニ施療機關ヲ設クルノ急務ナルヲ認メ金壹百萬圓ヲ寄附シテ財團法人組織ノ慈善病院ヲ設立スル事ニ決シ同家總代男爵三井八郎右衛門氏ハ益田孝土肥慶藏岡田和一郎入澤達吉朝吹英二五氏ニ設立委員ヲ囑託シ同年拾月財團法人三井慈善病院設立ノ認可ヲ得地ヲ元大學第二醫院跡即チ現在ノ地ニトシ直ニ建築ニ着手シ同四十一年十二月工事竣成同四十二年三月廿一日開院式ヲ舉ゲ翌廿二日ヨリ一般患者ノ診療ヲ開始シタリ其後二回ニ三井家ヨリ金貳拾五萬圓大正八年四月更ニ金百七拾五萬圓ノ寄附アリテ資本總額ヲ金參百萬圓トシ同時ニ名ヲ財團法人泉橋慈善病院ト改メタリ

目次

第一	役員	一
第二	評議員會並役員ノ異動	二
第三	職員及備人	四
第四	治療成績	一三
第五	醫術ノ研修	一九
第六	會計	二二
第七	彙報	二八
第八	患者病類別並ニ剖檢分類表	三四
第九	患者職業及現在住所別	五三
附錄	第一 附屬產婆看護婦養成所報告 (第七回)	一
	第二 贊助婦人會報告 (第三回)	一

財團 泉橋慈善病院沿革略

明治三十九年三井家ニ於テ時勢ニ鑑ミ貧困ニシテ醫藥ヲ得ルノ貧ナキ病者ノ爲メ施療ヲ爲スノ目的ヲ以テ市内ニ施療機關ヲ設クルノ急務ナルヲ認メ金壹百萬圓ヲ寄附シテ財團法人組織ノ慈善病院ヲ設立スル事ニ決シ同家總代男爵三井八郎右衛門氏ハ益田孝土肥慶藏岡田和一郎、入澤通吉朝吹英二五氏ニ設立委員ヲ囑託シ同年拾月財團法人三井慈善病院設立ノ認可ヲ得地ヲ元大學第二醫院跡即チ現在ノ地ニトシ直ニ建築ニ着手シ同四十一年十二月工事竣成同四十二年三月廿一日開院式ヲ奉テ翌廿二日ヨリ一般患者ノ診療ヲ開始シタリ其後二回ニ三井家ヨリ金貳拾五萬圓大正八年四月更ニ金百七拾五萬圓ノ寄附アリテ資本總額ヲ金壹百萬圓トシ同時ニ名ヲ財團法人泉橋慈善病院ト改メタリ

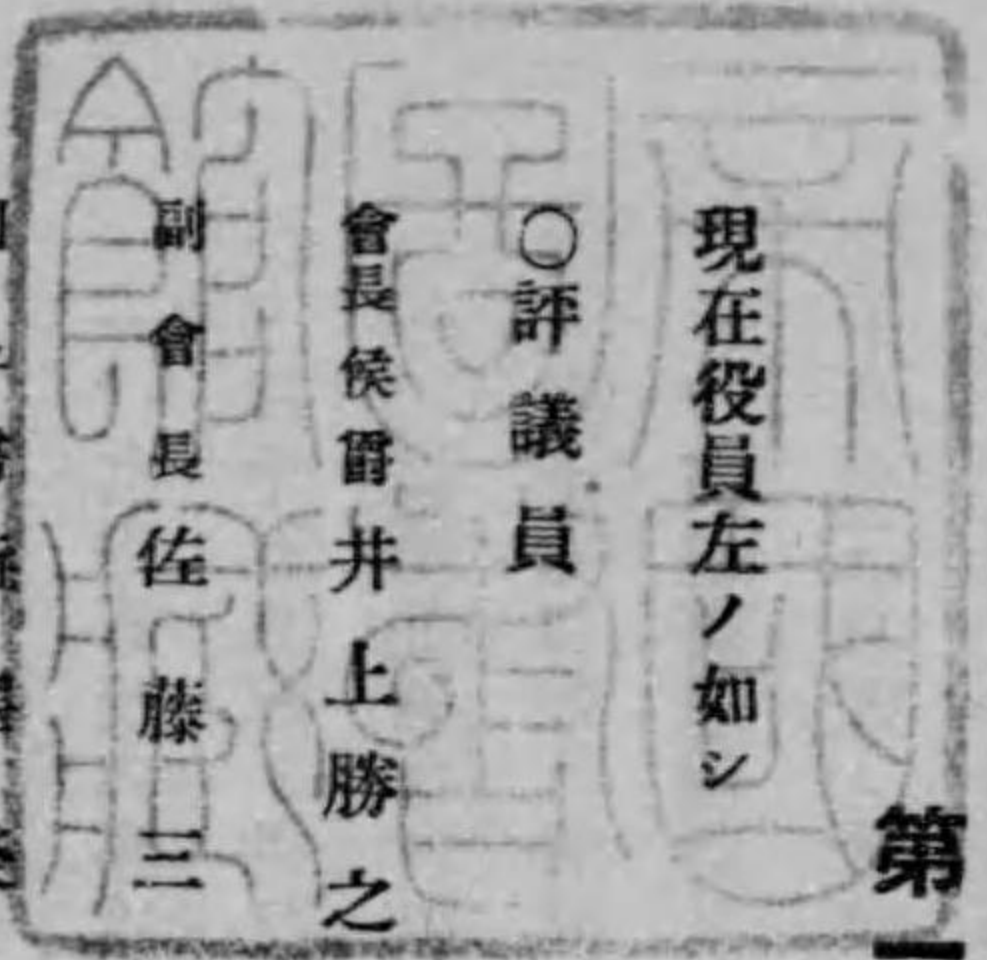
目次

第一	役員	一
第二	評議員會並役員ノ異動	二
第三	職員及備人	四
第四	治療成績	三
第五	醫術ノ研修	一九
第六	會計	二二
第七	彙報	二八
第八	患者病類別並ニ剖檢分類表	三四
第九	患者職業及現在住所別	五三
附錄	第一 附屬產婆看護婦養成所報告 (第七回)	一
	第二 贊助婦人會報告 (第三回)	一

財團法人 泉橋慈善病院第拾五回(自大正十一年一月至大正十一年十二月)報告

第一役員

現在役員左ノ如シ



- 評議員
- 會長 侯爵 井上勝之助 (大正八年四月十日選任)
 - 副會長 佐藤三吉 (大正十年十月十日選任)
 - 同 子爵 澁澤榮一 (大正八年四月十日選任)
 - 同 男爵 三井八郎右衛門 (大正十年十月十日選任)
-
- 理事
- 入澤達吉 (上)
 - 男爵 益田孝 (上)
 - 團 琢磨 (上)
 - 三井元之助 (上)
 - 三井源右衛門 (大正八年四月十日選任)
 - 田代義德 (上)
-
- 監事
- 團 琢磨 (大正十年十月十日選任)
 - 石川八十井 (大正八年三月九日選任)
 - 船尾榮太郎 (大正十一年三月十一日選任)
 - 田代義德 (大正八年四月十日選任)
 - 木村德衛 (上)
 - 有賀長文 (大正十年十月十日選任)
 - 藤井市三郎 (大正十一年七月十四日選任)

岡田和一郎 (同上)

土肥慶藏 (同上)

第二 評議員會並役員ノ異動

(一) 評議員會

- ◎二月廿二日左ノ件ヲ可決ス
 - 一、大正十年度資産及業務ノ狀況報告ノ件
 - 一、同 剩餘金處分ノ件
 - 一、宮内省及内務省獎勵金受領報告
- ◎三月十五日左ノ件ヲ可決ス
 - 一、煖房並厨房、洗濯、乾燥、消毒、配湯裝置設備ノ件
- ◎八月十七日左ノ件ヲ可決ス
 - 一、償還國庫債券ニ對スル代リ有價證券購入ノ件
- ◎十月十三日左ノ件ヲ可決ス
 - 一、有價證券買入報告
 - 一、煖房並厨房、洗濯、乾燥、消毒、配湯裝置工事費所有物勘定ニ編入ノ件
 - 一、有價證券差益金處分ノ件

- 一、國庫債券差益金處分ノ件
- ◎十二月廿日左ノ件ヲ可決ス
 - 一、大正十二年度豫算案

(二) 役員ノ異動

- ◎一月四日 評議員男爵三井高保氏卒去セラル
- ◎一月卅日 評議員副會長澁澤子爵渡米中ノ處本日歸朝セラル
- ◎一月卅一日 評議員三浦謹之助氏辭任セラル
- ◎三月廿日 評議員岡田和一郎氏歐米視察ノタメ出發セラル
- ◎三月卅一日 現任理事中、船尾榮太郎氏任期滿了ニ付寄附行爲第廿三條ノ規定ニ基キ評議員會全員一
致ヲ以テ前記船尾榮太郎氏ヲ理事ニ選任ス
- ◎四月十七日 現任監事中、藤井市三郎氏任期滿了ニ付寄附行爲第廿七條ノ規定ニ基キ評議員會全員一
致ヲ以テ前記藤井市三郎氏ヲ監事ニ選任ス
- ◎五月八日 評議員團琢磨氏歐米視察ヲ終リ本日歸朝セラル
- ◎十月十四日 評議員兼監事早川千吉郎氏卒去セラル
- ◎十月卅一日 評議員岡田和一郎氏歐米視察ヲ終リ本日歸朝セラル

第三 職員及傭人

(一) 現在職員

◎本年末ニ於ケル現在職員左表ノ如シ

職名	嘱託又ハ就職年月日	身分	姓名
院長	大正十年二月十日(嘱託)	東京帝國大學醫學部講師	醫學博士 木村 德衛
內科部長	明治四十二年二月一日(同)	同	同
眼科部長	大正二年九月二十七日(同)	上	中泉 行德
皮膚泌尿器科部長	明治四十三年八月三十日(同)	上	井上 成美
耳鼻咽喉科部長	大正三年十月一日(同)	上	田所喜久馬
外科部長	同 年十二月九日(同)	東京帝國大學助教授	醫學博士 青山 徹藏
病理解剖科部長	大正八年一月十五日(同)	同	福士 政一
藥劑部長	同 年七月一日(同)	上	製藥士 溝口 恒輔
內科主任	大正九年二月一日(同)	上	醫學博士 平松 濤平
產科婦人科部長	大正十年五月五日(同)	上	醫學博士 笠森 周護
小兒科部長	同 年五月廿日(同)	上	醫學博士 太田 孝之

職名	嘱託又ハ就職年月日	身分	姓名
光線療法科部長	大正八年七月四日	同	醫學士 岡野 正俊
醫員(內科)	大正九年一月八日	同	關口 伴之
同	同 年四月十五日	同	長谷川 誠
同	同 年十二月十一日	同	浦部 市真
同	同 年十二月廿日	同	吉田 眞
同	大正十年九月廿二日	同	青木 三弦
同	同 年十一月七日	同	小暮 悅郎
同	同 年十一月十六日	同	岡田 翁
同	大正十一年四月一日	同	上村 伯太郎
同	同 上	同	岩田 達
同	同 上	同	田原 敏夫
醫員(外科及産科婦人科)	大正八年一月廿四日	同	辻村 繁三
同	大正九年一月廿六日	同	衛藤 順一
同	大正十年九月廿二日	同	佐藤 順一
同	同 年十一月廿九日	同	直江 六三郎
同	大正十一年四月一日	同	鹿島 夏三

事務員	大正十年五月廿四日	森忠雄
看護婦取締	大正十一年十二月九日	菊池武正
看護婦取締	明治四十三年一月十一日	綿谷禮利
主務看護婦	大正十年十一月廿一日	加藤セイ
同	大正十一年一月十六日	田付
同	大正十一年十一月廿一日	市川イネ
同	同上	尾柄きよ
同	同上	中山乃姪
同	同上	市原さだ
同	同上	牧野文美
同	同上	飯田千代の
同	同上	八木かつ
同	同上	杉江シキ
守衛取締	大正十年十二月廿一日	吉田龜太郎
雑務員取締	同上	山本源太郎
汽罐取扱主任	大正十一年十一月一日	作間庄治

◎本年末ニ於ケル職員其他現在數左表ノ如シ

區別	科別	事務	内科	外科	眼科	耳科	皮科	兒科	婦科	光科	病理科	藥局	合計
院	院長	一											一
副院	院長		主任										一
部	部長		二	一									三
醫	員			九	一								一〇
藥劑局	員				三	三	六	一					一三
事務	局長	一											一
事務	長代理	一											二
書	記												一
看護婦	取締	一											一
看護婦	取締	五(主任一名)											五
同	講習生	三											三
同	見習生	二											二
按摩	手	一											一
光線科	履												一

八月廿三日	皮膚科	醫學士知	馬場ふ	十月卅一日	外科	醫學士水野
八月卅一日	看護婦	秋田	一	同上	看護婦	竹内しけの
同上	同上	田中イチ		十一月一日	耳鼻科	醫學士澤清
九月十一日	同上	佐藤しげ		十二月十日	内科	醫學士佐藤重巳
九月十九日	眼科	小關おせい		十二月廿一日	耳鼻科	醫學士今井藏六
九月卅日	病理科	醫學士荒	清	同上	皮膚科	醫學士本川
十月卅一日	内科	醫學士	清	同上	光線科	醫學士堀江

第四 治療成績

(一) 診療事務

◎四月一日 例年ノ通り本日ヨリ執務時間及患者受付時間ヲ左ノ通り改ム

一、執務時間 自午前八時至午後四時

一、新來患者受付時間 自午前六時至午前七時(耳鼻咽喉科、小兒科ニ限リ午前八時迄)

一、再來患者受付時間 午前八時迄

◎四月十三日 小兒科ニ於テ自今毎週金曜日正午マデ二十名ヲ限リ希望者ノタメニ種痘ヲ行フ

◎七月十二日 光線療法科ハ例年ノ通り本日ヨリ九月十日マデ閉鎖ス(但水曜日ハ従前ノ通)

◎七月十五日 東西第二病室及産婦人科病室(産病室ヲ除ク)ヲ本日ヨリ閉鎖ス

◎十月一日 例年ノ通り本日ヨリ執務時間及患者受付時間ヲ左ノ通り改ム

一、執務時間 自午前九時至午後四時

一、新來患者受付時間 自午前七時至午前八時(耳鼻咽喉科、小兒科ニ限リ午前九時迄)

一、再來患者受付時間 午前九時迄

暑中閉鎖中ナリシ東西第二病室及産婦人科病室ヲ本日ヨリ開ク

備考 外來患者ノ治療日數及一日平均數左ノ如シ

治療日數
 新來 二百九十一日
 再來 二百九十四日
 一日平均數
 新來 八十五人〇九二
 再來 四百五十二人八九一

2、入院患者數

(イ) 男 女 別

男女別	區別		持越入院計	全治退院	快死事故計	治療日數	現在
	男	女					
男	四	二	七五	四	一〇	一八、六九六	四
女	三	一	九七	二	一七	一六、四〇四	二
小兒	五	一	一〇一	三	三	二、一〇六	三
合計	一、八〇三	一、八七九	一、八七九	四	二〇	三六、四〇九	七

(ロ) 各科 別

各科別	區別	持越入院計	全治退院	快死事故計	治療日數	現在	
							內科
內科	一八	四〇〇	三	九〇	二、九三三	三	
外科	四三	五二	六	三九	二、三三三	二	
眼	三	六	一	二	一、〇〇一	一	
耳鼻咽喉科	一三	六	七	四	二、一三三	四	
皮膚泌尿器科	八	六	一	五	三、三四九	六	
小兒科	六	一〇	五	三	二、四九三	八	
產婦人科	二	一七九	八	九	二、四九三	八	
合計	七	一、八七九	四	二〇	三六、四〇九	七	

備考 入院患者一日平均數百五人三四

◎入院患者一人ニ對スル治療日數(在院日數)ヲ各科別ニ比較スレバ左ノ如シ

科別	年次	比較	
		大正十年	大正十一年
內科	二六・七	二八・九	△二・二
外科	二六・一	二四・三	△一・八
眼	一八・〇	二二・八	△四・八

耳 鼻 咽 喉 科	一五〇
皮 膚 泌 尿 器 科	一三〇
小 兒 科	二〇〇
產 婦 人 科	九〇
合 計	△〇〇

◎大正十一年度ニ於ケル助産成績左ノ如シ

產婦取扱數	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	合計
在院日數	一四	一四	一三	一七	一五	八	一七	二〇	一七	二九	三三	三六	二二

備考 一ヶ月平均產婦取扱數二十五人強
一人平均在院日數七日強

第五 醫術ノ研修

(一) 剖 檢

區 別	男 女 別	男	女	計
大	人	八	九	一七
小	人	二	二	四
合 計	計	一〇	一一	二一

◎本年中醫師ノ研究生及講習生左ノ如シ

(二) 研究及講習

科 目	資格別	研 究 生 人 員		講 習 生 人 員		合 計
		及開業試験者 大學及專門 學校出身	計	及開業試験者 大學及專門 學校出身	計	
內科		一〇	八	八	二	二八
外科		四	六			一〇
眼科		七	五			一二
耳鼻咽喉科		三	五	二	一	一〇
皮膚泌尿器科		二	三	八	一〇	一五
小兒科		九	四	三	三	一六
合計		三九	三二	一三	一六	八〇

產科婦人科	計	一七	四五	六九	六	一四九	二五	八四三
光線療法科		一	四七	六八	五	六	一四	七九
病理解剖科		三	四七	六八	五	六	一四	七九
合計		一七	四五	六九	六	一四九	二五	八四三

◎講習會ハ本年中第五十三回ヨリ第五十七回ニ至ル五回ヲ開講セリ

第五十三回(三月一日ヨリ四週間)

小兒科 醫學博士 太田孝之

光線科 醫學士 片山國幸

科外講演者、久保(良英)文學士

第五十四回(五月一日ヨリ四週間)

耳鼻咽喉科 醫學士 田所喜久馬

病理解剖科 醫學博士 福士政一

科外講演者、吉本博士及太田博士

第五十五回(六月一日ヨリ四週間)

內科 醫學博士 平松濤平

皮膚泌尿器科 醫學士 前田安之助

産婦人科 醫學士 笠森周護

科外講演者、太田博士、坂口博士、福士博士及青山博士

第五十六回(十月一日ヨリ四週間)

耳鼻咽喉科 醫學士 田所喜久馬

小兒科 醫學博士 太田孝之

科外講演者、杉田博士

第五十七回(十一月一日ヨリ四週間)

內科 醫學博士 平松濤平

産婦人科 醫學士 笠森周護

光線科 醫學士 堀江恭一

病理解剖科 醫學博士 福士政一

科外講演者、杉田博士及眞鍋學士

(三) 集談會

◎學術集談會ハ第五十七回ヨリ第六十回ニ至ル四回ヲ開催セリ

貸借對照表			
(大正十一年十二月三十一日)			
借方	金額	貸方	金額
所有物勘定		元資金勘定	
土地 (二千九百五十三坪六二)	117,604.59	3,000,000.00	
建物 (一千三百六十一坪一四)	296,673.26	慈善資金勘定	
醫療器具	32,541.88	14,038.26	
甲必號公債證書額面 854,000	721,687.41	準備金勘定	
ろ號鐵道債券 同 8,000	6,800.00	34,672.47	
佛貸四分利公債 同 456,500	91,591.02	看護員慰安資金	
東京市上下水道公債 同 70,000	52,500.00	573.75	
東京府農工債券 同 25,900	22,015.00	收支勘定	
大阪市都市債券 同 600,000	598,800.00	前年度繰越殘金	7,993.32
大阪市港公債 同 40,000	32,000.00	經常收入	195,847.30
同電氣鐵道債券 同 9,500	7,125.00	臨時收入	4,461.06
同神戶市水道公債 同 120,000	90,000.00	雜勘定	
北海道炭礦汽船社債券 同 500,000	483,750.00	有價證券購入資金 (元資金)	93.76
南滿洲鐵道社債券 同 465,800	445,397.96	醫療器具購入資金 (")	1,420.12
有價證券 (追テ購入スヘキ分)	93.76	有價證券購入資金 (準備金)	2,799.45
醫療器具 (")	1,420.12	講習會預金	182.00
有價證券 (慈善及備準資金)	40,729.27	書籍購入費次年度繰越	4,398.19
同 (追テ購入スヘキ分)	2,799.45	學術研究資金 "	1,312.42
銀行勘定		當分預	5,000.00
三井銀行當座預金	351.42		
同上特別當座預金	26,808.66		
現金勘定	256.43		
產婆看護婦養成所勘定	14,211.19		
收支勘定			
經常支出	181,820.27		
臨時支出	4,315.41		
退職者慰勞基金	1,500.00		
	3,272,792.10		3,272,792.10

第六會 計

- ◎一月四日 東京府農工債券ノ内額面壹千壹百圓ノ償還ヲ受ケタリ
- ◎三月十六日 償還ヲ受ケタル東京府農工債券差益金五拾六圓參拾四錢ヲ以テ同債券ノ評價切下ゲヲ行ヒタリ
- ◎六月三十日 神戸市水道公債ノ内額面八千圓ノ償還ヲ受ケタリ
- ◎七月三日 東京府農工債券ノ内額面壹千六百圓ノ償還ヲ受ケタリ
- ◎八月十七日 に號國庫債券額面百五拾七萬圓ヲ償還ニ先タチ金百五拾七萬五千四百九拾五圓ニテ賣却シ内ヲ以テ北海炭礦汽船會社々債券額面五拾萬圓ヲ購入シタリ
- ◎九月一日 大阪市都市計畫事業公債額面六拾萬圓ヲ購入シタリ
- ◎九月十五日 償還ヲ受ケタル神戸市水道公債差益金壹千四百貳拾七圓六拾錢ヲ以テ同公債、及東京府農工債券差益金八拾五圓貳拾四錢ヲ以テ同債券ノ評價切下ゲヲ行ヒタリ
- ◎九月十五日 南滿洲鐵道會社々債券額面四拾九萬四千貳百圓ヲ購入ス内壹萬四千貳百圓ヲ準備金トス
- ◎十二月卅一日 償還ヲ受ケタルに號國庫債券差益金六萬七千八百八拾六圓拾八錢ヲ以テ甲必號公債外公債、債券ノ評價切下ゲヲ行ヒタリ

大正十二年度豫算表(其二)

支出之部		產婆看護婦養成所費	
經常費		準備積立金	
俸給及手當	40,272.00		11,596.00
雜員給料及當直辨當料	20,701.00		
看護婦費	28,196.00		
備品費	10,510.00	退職者慰勞基金	1,500.00
帳簿及文具類	2,410.00	合計	199,353.00
電燈、瓦斯、木炭、石炭給水及消耗費	14,943.00		
通信運搬費	920.00		
藥品、治療材料及雜用品費	26,463.00		
患者賄及滋養品費	12,572.00		
入院患者被服、寢具、同補修費及消毒費	4,979.00		
診斷實驗費	3,770.00		
營繕及修繕費	2,000.00		
火災保險料	4,227.00		
電燈、瓦斯、水道樣模替及新調費	140.00		
諸稅及公費	1,650.00		
諸雜費	2,100.00		
慰勞金	9,704.00		
豫備費	700.00		
	186,257.00		

大正十二年度豫算表(其一)

收入之部		臨時收入	
經常收入			
甲込號公債證書利子	42,700.00	光線科收入	150.00
ろ號鐵道債券	400.00	銀行預金利子	240.00
佛貸四分利公債	7,077.00	講堂貸與料	30.00
神戸市水道公債	6,000.00	不用品賣却代	100.00
大阪市都市計畫公債	48,000.00		
大阪市築港公債	2,400.00		
大阪市電氣鐵道公債	475.00		
東京市上下水道公債	3,500.00		
東京府農工債券	1,813.00		
北海道炭礦汽船社債券	37,500.00		
南滿洲鐵道社債券	32,606.00		
有價證券使用料	12,810.00		
講習會收入金	1,800.00		
贊助婦人會寄附	1,752.00		
	198,833.00	經常收入	520.00
			198,833.00
			199,353.00

第七 彙 報

二八

(一) 獎勵助成金及東京市補助金受領

◎二月十一日午前十時東京府廳ニ於テ左記ノ社會事業ニ對スル獎勵助成金傳達並交附式ヲ舉行セラル

泉 橋 慈 善 病 院

今般其ノ事業御獎勵ノ思召ヲ以テ金五百圓下賜候事

大正十一年二月十一日

宮 内 省

財團法人 泉 橋 慈 善 病 院

社會事業ニ關シ從來盡力スル所尠カラス今後一層淬勵シテ其効果ヲ收メムコトヲ望ム仍テ茲ニ獎勵金ヲ下附ス

大正十一年二月十一日

内務大臣 從三位勳一等 床 次 竹 二 郎

◎五月十一日 東京市社會局ニ於テ左記ノ東京市補助金參百圓ヲ交附セラル

泉 橋 慈 善 病 院

社會事業ニ關シ從來盡力スル所尠カラス仍テ茲ニ本市ノ補助金ヲ交附ス今後尙一層淬勵以テ其效果ヲ收メラレムコトヲ望ム

大正十一年三月三十日

東京市長 男爵 後 藤 新 平

(右金額ハ何レモ慈惠資金ニ繰入レタリ)

(二) 記 念 式

◎四月七日 午前十時ヨリ本院ニ於テ左ノ順序ニヨリ記念式ヲ行フ

一、君が代

二、評議員會長ノ挨拶

三、院務ノ報告

四、十年勤績者表彰

當日來賓、東京府知事代理小林正金氏、二階堂保則氏、三井元之助氏、有賀長文氏、船尾榮太郎氏、

渡邊琴子氏

賛助婦人會岡田德子氏、團芳子氏、池田艶子氏、田代春子氏、木村益子氏、山田房子氏、山田久子氏

二九

十年勤績者左ノ如シ

眼科部長 中泉行徳
 雜務員 矢島綱吉

三〇

(三) 寄附、寄贈、寄託

◎本年中本院ニ於テ寄附寄贈ヲ受ケタルモノ左ノ如シ

月 日	慈善資金	看護員 慰安資金	治療費	物 品	氏 名	宿 所
一月十九日				「生体染色ノ研究」 第三卷	財團 啓明會 法人 名 氏	麹町區永樂町一ノ一、東京 海上内
四月十日		二〇			無 名 氏	
五月廿二日				雜誌八十七部	井上侯爵家	麻布區宮村町四二
五月廿五日				雜誌百五十部	同 右	同 右
六月五日		三〇			船尾榮太郎	府下日暮里町大字日暮里一 〇三五
同 右	一〇〇				水谷松太郎	下谷區仲徒町四ノ三八
六月十一日				玩具十九點	太田孝之氏夫人	淺草區馬道町四ノ二二
六月十九日		二〇			淺井保太郎	日本橋區岩代町一、堀江吉 太郎方
八月五日		五〇			後藤仙八	長野縣輕井澤六二四
月十七日		五			櫻井みどり子	本郷區駒込曙町一六

九月十一日		一〇〇			田代義徳	下谷區練堀町六一
九月十二日		三〇			熊谷蛋藏	府下西巢鴨町六五三
十一月十四日				雜誌七十三部	井上侯爵家	麻布區宮村町四二
十一月卅日				菓子、小兒用玩具、 衣類、日用品等	同 右	同 右
十二月四日		五〇			早川秀夫	淺草區元鳥越町三〇
十二月廿九日				菓子、密柑、飾り物	井上侯爵家	麻布區宮村町四二
三月卅一日			四三二			
六月卅日			四三六、八〇			
十二月廿七日			八八三、二〇	一、七五二	贊助婦人會	本院内

◎本年間入院患者ヲ慰問シ生花ヲ寄贈セラレタルモノ左ノ如シ

聯合花まつり會本部

本郷教會日曜學校

下谷教會日曜學校

(四) 雜 事

◎一月八日 故評議員男爵三井高保氏葬儀ニ付本院ヨリ花環ヲ贈リ院長及事務長會葬ス

◎一月廿三日 東京市社會局救護課ノ紹介ニヨリ米國紐育市フォックス活動寫真會社ブリック氏來院、

本院各部ヲ撮影ス

- ◎三月廿一日 午前十時ヨリ淺草區松清町、淺草本願寺本堂ニ於テ本院入院死亡者ノ春季法要ヲ執行ス
 參會者ハ遺族又ハ近親二十名、本院職員看護婦等二十五名
- ◎四月十二日 中華民國陸軍々醫學校長全紹清、內務部中央防疫處長兼京師傳染病院長嚴智鐘、北京病
 院長侯毓汝、公立上海病院長王曾憲、北京協和醫學校長ドクトル、エッチ、イー、メレネー氏外數名
 來院參觀
- ◎五月十三日 東京市施療病院長西勇雄氏、同外科醫長小林幹氏來院參觀
- ◎五月十八日 濟生會大阪府病院內科醫長倉重貞二氏昇降機設置參考ノタメ來院參觀
- ◎五月廿七日 評議員會長井上侯爵及贊助婦人會長井上侯爵夫人主催ニテ午後三時ヨリ同邸ニ於テ贊助
 婦人會例會ヲ兼テ茶話會ヲ行フ
- ◎七月廿一日 評議員田代義德氏養母逝去ニ付本日告別式執行ニ際シ本院ヨリ花環ヲ贈リ院長事務長等
 參列ス
- ◎七月卅一日 東京府社會課長藏原敏捷氏外二名來院參觀
- ◎九月廿四日 午前十時ヨリ淺草區松清町、淺草本願寺本堂ニ於テ本院入院死亡者ノ秋季法要ヲ執行ス
 參會者ハ遺族又ハ近親廿二名、本院職員看護婦等廿八名

◎十月廿二日 評議員兼監事早川千吉郎氏卒去ニ付本日告別式執行ニ際シ本院ヨリ花環ヲ贈リ院長事務
 長參列ス

◎十月廿六日 東三省保安總司令部軍醫處長陸軍一等軍醫正王宗承氏外二名來院參觀

◎十一月九日 午前十時警視廳總監赤池濃、警視廳衛生部長小栗一雄、同衛生部醫務課長龜岡慶治、同刑
 事部長木下信氏巡視ノタメ來院

◎十一月卅日 贊助婦人會長井上侯爵夫人來院、入院患者慰問、外來患者診斷實況及新設ノ乳厨作業參
 觀

◎十二月卅一日 本年間入院死亡者葬祭ヲ財團法人助葬會ニ依頼セルモノ合計百七十三名ナリ

(五) 蒸汽諸裝置工事

◎三月十五日 蒸汽煖房並蒸汽消毒諸裝置工事費總額金六萬壹百八拾四圓ヲ以テ齋藤製作所ニ請負ハシ
 ムルコトニ決定ス

◎四月一日 前項工事ニ着手

◎十一月十日 警視廳ヨリ汽罐汽機蒸汽罐檢查證書ヲ附與セラル

第八 患者病類別並剖檢分類表

一 外來患者病類別

(大正十一年分)

病類別	內科		外科		合計	大		小		合計
	男	女	男	女		男	女	男	女	
急性傳染病	三	七			三					三
消化器系統病	八〇五	五七三			一,三七八					一,三七八
呼吸器系統病	九四七	五八二			一,五二九					一,五二九
循環器系統病	一七五	一三三			三〇八					三〇八
漿液膜疾患	四八〇	三三〇			八一〇					八一〇
血液病	一六	二四			四〇					四〇
新陳代謝病	一〇	一八			二八					二八
神經系統病	八八四	五四四			一,四二八					一,四二八
筋及關節病	三三	八二			一一五					一一五
泌尿生殖器病			三〇〇		三〇〇	五〇二				八〇二
中						二一三				二一三
脚						五三三				五三三
毒						三〇〇				三〇〇
梅						三三				三三
毒						六四				六四
不						二〇〇				二〇〇
詳						一五七				一五七
他						八五				八五
科						一六八				一六八
計						四,八四四				四,八四四
計						三,三三三				三,三三三
合計	八,〇七七	五,一五三	三,三三三	一,一六八	八,〇七七	八,〇七七	五,一五三	三,三三三	一,一六八	八,〇七七

病類別	內科		外科		合計	大		小		合計
	男	女	男	女		男	女	男	女	
骨部外傷	八三	一一	一四	三	一〇〇	三〇〇	一四二	一一	一〇	四九四
軟部外傷	一六四	二二	二七	七	二二〇	二二	一九	七	二一	五二
整形的四肢疾患	三三	八	三〇	三	四三	二二	一七	九	一	三九
皮膚及皮下	二八二	一三三	八三	二四	五〇〇	三	七	一	一	一一
組織疾患	二四	二二	九	三	五八					五八
筋疾患	二〇七	七五	六	三	二八八					二八八
骨疾患	一六三	七五	六	三	二四七					二四七
關節疾患	一〇	七	三	三	二三					二三
血管系循環器疾患	二〇	一	三	三	二七					二七
口腔及食道疾患	二四	三	二五	三	五二					五二
胃疾患	三七	一九	一	三	五〇					五〇
腸及腹膜疾患	五九	三三	八	一	九二					九二
肝臟疾患	二〇	九	八	一	三九					三九
ヘルニア	五九	一	七	一	六八					六八
合計	二,〇三六	九七四	二,〇三六	九七四	三,〇一〇	三,〇一〇	一,四二二	一,一六八	一,〇九六	三,八二二
先天異常						一				一
合計	二,〇三六	九七四	二,〇三六	九七四	三,〇一〇	三,〇一〇	一,四二二	一,一六八	一,〇九六	三,八二二

筋 眼		障 內 絲			經 神 視		虹 彩			計					
疾 計	疾 病	先 天 性 異 常	疾 病	計	完 全 失 明	續 發 性	原 發 性	計	失 明 者	ア ト ロ ヒ ー	疾 病	疾 病	計	疾 病	計
六	三	三	三	一三				六〇		四八	二二	五八	三三	五三	四八〇
七	三	三	三	一五				四三		三三	一五	四二	一五	三五	五九九
一	三	三	一	一				三		三		三		三	一六三
一	二	二						七		四	三				三三
一五	四九	四九	二	二				二二		八三	三〇	一〇	八	九〇	一、四七一
膜		網			膜 絡 脈		體 樣 毛		球		眼		計		
近 計	腫 瘍	失 明 者	剝 離	出 血	疾 病	計	先 天 性 異 常	疾 病	計	外 傷	交 感 性 眼 炎	疾 病	計	眼 球 癆	先 天 性 異 常
五	六	一	三	五	五	二二		二二	四		二	二	三三	一三	二
六	三九	一	二	六	三〇	三		三	四		二	二	三三	一一	三
六	一	一												二	一
一七	三	二			二								五	二	二
一四	一〇四	二			八三	一五		一五	八				四九	二六	八

結						體 晶 水		膜 鞏		器 淚		計		
外 傷	乾 燥 症	加 傳 答 染 兒 性	濾 泡 性	急 ト フ ホ ー ム 性	慢 ト フ ホ ー ム 性	疾 病	計	先 天 性 異 常	外 傷	疾 病	計	先 天 性 異 常	疾 病	計
	五	二〇	一八	八	四三	二六二	三〇		二	三	六	八	二	六
	五	一五	一五	一七	五七七	二七〇	五		二	四九	五	三	一	三
	二〇	二二	一七	四	一五五	一九五	七		三	四		三		五
	五	三	一六	四	一七〇	一五五	三			二		四	一	四
	三	六	六	三	一三三	九〇	九		七	九〇	二	二	四	三
膜						角		體 子 硝		膜		計		
先 天 性 異 常	外 傷	實 質 炎	翳 者	內 特 二 失 明	乾 燥 症	潰 瘍	者	內 特 二 失 明	疾 病	計	失 明 者	先 天 性 異 常	疾 病	計
三	三	四	一五	三	六	三六		一八	五	三三	三		二九	七四九
		六	一八〇			三		二六	八	一四	二		二二	九〇三
		一六	五	一	二	六		一三	六	一四			四〇	四〇
		三	七		六	一三		一八	七	八七			三三	三三七
六	三	一三	四〇	四	一四	八		四八〇	二八八	三	五	三	二	二、四四八

病類	以下七歲		七歲以上十歲以下		十歲以上十五歲以下		十五歲以上二十歲以下		二十歲以上廿五歲以下		廿五歲以上三十歲以下		三十歲以上四十歲以下		四十歲以上五十歲以下		五十歲以上六十歲以下		六十歲以上七十歲以下		七十歲以上		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
急性傳染病																							
消化器系統病																							
呼吸器系統病																							
漿液膜疾患																							
循環器系統病																							
泌尿生殖器病																							
筋及關節病																							
血液病																							
新陳代謝病																							
合計																							

二 入院患者病類及年齡別

(大正十一年度分)

病類	合計
アクトノミコーセ	四
子宮筋腫	一
腹膜炎	二
白血病	四
關節炎	一
合計	七

病類	合計
呼吸器系統病	三三
漿液膜疾患	一三
循環器系統病	三五
泌尿生殖器病	三
體質異常	二
脚氣	六
神經系統病	八
畸形	三
合計	一〇九

光線科

病類	合計
皮膚結核	三
淋巴腺炎	五
合計	八

郵便脚夫	屋根職	疊職	青物水菓子商	鑄掛錠前直シ	櫛職	ハシキ職	竹細工職	漁夫	車掌運轉手	空倭樽商	羅字屋職	織物職	印版木職	棉打職	桶職	彫刻職
三	三	三〇	三	三	元	元	元	三	三	三	三	三	三	三	三	三
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
メリヤス職	寄子職	扇子團扇職	馬具職	研箱職	縫箱職	易者職	籠甲職	花商	編物組糸職	刷毛職	藝人職	表具職	魚商	提灯傘職	荒物商	下足直シ
一	一	三	五	六	八	九	二	四	五	六	六	七	九	三	三	三
一	一	三	五	六	八	九	二	四	五	六	六	七	九	三	三	三

ア	理髮職	草履鼻緒職	下駄職	馬方馬丁	染物形附職	硝子職	左官煉瓦職	鹿職	農夫	帽子職	古物商	植木職	下駄齒入レ	屑買	小使	護謨細工職
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
石工	挽物職	洗濯業	革具職	筆職	木具職	張物職	塗物職	料理人	木挽職	袋物職	按摩鍼灸業	足袋シヤツ職	船乗	洋傘直シ	玩具具職	器械職
六	七	七	七	七	七	七	八	八	九	一〇〇	一〇一	一〇二	一〇三	一〇四	一〇五	一〇六
六	七	七	七	七	七	七	八	八	九	一〇〇	一〇一	一〇二	一〇三	一〇四	一〇五	一〇六

産婆看護婦養成所報告

第七

(大正十一年)

(二) 患者現在住所別表

住 所	外 来	入 院	住 所	外 来	入 院
郡 部	八、六九	五五四	牛 込 区	二二二	三
浅 草 区	三、四九五	二六	京 橋 区	一四八	一七
本 所 区	三、三九五	三六	地 方 区	二六	四
下 谷 区	二、九五	三八	芝 区	二四	一七
深 川 区	二、二四	九	麴 町 区	七	一
神 田 区	一、六一	一五	四 谷 区	七	五
本 郷 区	七〇〇	五	麻 布 区	六	四
小 石 川 区	五八	三	赤 坂 区	四	六
日 本 橋 区	三七	三	合 計	二四、七三	一、八〇

産 婆 看 護 婦	藥 種 商	店 員 雇 人	金 物 商
三	五	三	四
小 間 物 雜 貨 商	薪 炭 商	合 計	
二	一	二四、七三	一、八〇

産婆看護婦養成所報告

第七 (大正十一年)

(二) 患者現在住所別表

住	所	外	来	入	院	住	所	外	来	入	院
郡	浅草	八、六九		五、四〇	牛込	計			三、七六		一、〇〇
区	本所	三、四九		三、三六	京橋	区			二、四八		一、一七
区	下谷	三、五五		三、三八	芝	区			二、三六		一、〇〇
区	深川	三、二四		三、〇九	麹町	区			二、〇七		一、〇〇
区	神田	三、〇三		二、九一	四谷	区			一、七五		一、〇〇
区	本郷	二、七二		二、五九	麻布	区			一、六三		一、〇〇
区	小石川	二、六六		二、五三	赤坂	区			一、四四		一、〇〇
区	日本橋	二、三七		二、二四	合	計			三、四七		一、〇〇

産婆看護婦	藥種商	店員雇人	金物商
三、〇〇	五、〇〇	三、〇〇	四、〇〇
小間物雜貨商	炭商	薪商	薪商
二、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
計	計	計	計
一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇

財團法人泉橋慈善病院附屬
産婆看護婦養成所規程拔萃

- 第一條 本所ハ財團法人泉橋慈善病院ニ附屬シ助産法並ニ一般患者看護法ヲ講授シ兼テ社會事業ニ關スル智識ト高尚ナル品性トヲ涵養スルヲ以テ目的トス
- 第二條 本所ニ所長一名、事務長一名、教員若干名、幹事一名、取締一名、副取締若干名ヲ置ク
- 第三條 本所ハ之ヲ左ノ二科ニ分ツ
看護法講習科
産婆講習科
- 第四條 講習年限ハ各二ケ年トス
- 第五條 學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル
- 第六條 入學志願者ハ本所長ノ認可シタルモノニシテ大要左ノ資格ヲ備フルヲ要ス
一、看護法講習生ハ年齡滿十六年以上三十年以下ニシテ配偶者ナク高等小學校ノ卒業證書ヲ有シ又ハ之ト同等以上ノ學

- 力ヲ有スルモノ
- 二、産婆講習生ハ本院看護法講習科卒業生又ハ看護婦ノ資格ヲ有スル官公私立病院ノ委託生ニシテ本所長ノ認可シタルモノ又ハ看護婦ノ資格ヲ有スルモノニシテ入學試験ニ及第シタルモノ
- 第七條 講習生ハ卒業證書受得ノ日ヨリ滿二ケ年間成規ニ依リ給料ヲ受ケテ本院ノ看護婦ヲ勤務スル義務アルモノトス
- 第八條 看護法講習生ニハ食餌及手當ヲ給與シ制服ヲ貸與シ院内ニ宿泊セシム

附錄 第一

産婆看護婦養成所報告

第七

(大正十一年度)

(一) 現在役員

本年末ニ於ケル現在役員左ノ如シ

所長	醫學博士	田代義徳	講師	醫學士	君野清三
教頭	同	平松壽平	同	同	長谷川誠
講師	醫學士	笠森周護	同	同	佐藤順一
同	醫學博士	太田孝之	同	同	浦部市良
同	醫學士	辻村繁三	同	同	直江六三郎
同	同	衛藤巖	同	同	佐方鎮子
同	同	岡野正俊	同	同	藤村トヨ
同	同	關口伴之	事務長		溝口恒輔

財団法人泉橋慈善病院附屬
産婆看護婦養成所規程抜萃

第一條 本所、財団法人泉橋慈善病院に附屬シ助産法並ニ一般庶
者看護法ヲ教授シ兼テ社會事業ニ關スル看護ト高尙ナル品性ト
ヲ培養スルヲ以テ目的トス

第二條 本所ニ所長一名、事務長一名、教員若干名、幹事一名、取
締一名、副取締若干名ヲ置ク

第三條 本所ハ之ヲ左ノ二科ニ分ク

産婆法講習科
看護法講習科

第四條 講習年限ハ各二ヶ年トス

第五條 學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第六條 入學志願者ハ本所長ノ認可シタルモノニシテ大抵左ノ實
績ヲ備フルヲ要ス

一、看護法講習生ハ年齢十六年以上三十年以下ニシテ配偶
者ナク高等小學校ノ卒業證書ヲ有シ又ハ之ト同等以上ノ學
力ヲ有スルモノ

二、産婆講習生ハ本院看護法講習科卒業生又ハ看護婦ノ資格
ヲ有スル官公私立病院ノ委託生ニシテ本所長ノ認可シタル
モノ又ハ看護婦ノ資格ヲ有スルモノニシテ入學試験ニ及第
シタルモノ

第七條 講習生ハ卒業證書受得ノ日ヨリ滿二ヶ年間成績ニ依リ給
料ヲ受ケニ本院ノ看護婦ヲ勤務スル義務アルモノトス

第八條 看護法講習生ニハ食費及手當ヲ給與シ制服ヲ貸與シ院内
ニ宿泊セシム

附錄 第一

産婆看護婦養成所報告

(一) 現在役員

本年末ニ於ケル現在役員左ノ如シ

所長	醫學博士	田代義徳	講師	醫學士	君野清三
教頭	同	平松濤平	同	同	長谷川誠
講師	醫學士	笠森周護	同	同	佐藤順一
同	醫學博士	太田孝之	同	同	浦部市良
同	醫學士	辻村繁三	同	同	直江六三郎
同	同	衛藤巖	同	同	佐方鎮子
同	同	岡野正俊	同	同	藤村トヨ
同	同	關口伴之	事務長		溝口恒輔

第七

(大正十一年度)

校 醫 醫學士 岡野 正俊 取締 綿谷 禮利
幹 事 松川 武德

(二) 入學式

◎四月一日 第四回産婆講習生十六名、第四回看護法講習生十七名ノ入學式ヲ舉行ス

(三) 産婆講習科卒業式

◎四月七日 午前十時本院記念式ニ次テ左ノ順序ニ依リ第二回産婆講習科卒業證書授與式ヲ舉行セリ

- 一、金剛石の歌
- 二、産婆看護婦養成所報告 (事務長)
- 三、卒業證書授與 (所長)
- 四、賛助婦人會ノ記念品授與
- 五、所長訓辭
- 六、來賓祝辭 (東京府知事代理)
- 七、卒業生總代答辭 (田中イチ)

來賓ハ本院記念式ニ同ジ

東京府知事ノ祝辭左ノ如シ

幼乳兒ノ死亡率ノ減退策ハ輒近世界ノ趨勢ニシテ甚大ノ注意ヲ喚起シ先進諸國ニハ諸種ノ施設ヲ以テ防止シツ、アリ而シテ乳兒保護ノ根本ハ主トシテ妊産婦ノ保護ニアルハ識者ノ定論ニシテ妊産婦ノ産前産後ニ於ケル注意ト乳兒ノ保護ハ之ヲ科學的智識ヲ有スル産婆ニ俟タサルヘカラス最近内務省衛生局ハ妊産婦及兒童衛生ニ關スル講習會ヲ開催シ智識ノ普及ヲ計圖シタルハ蓋シ此ノ點ヲ考慮シタルモノナリ諸子ハ最モ嶄新ナル科學的智識ト方法トヲ學修シ今ヤ業就リ茲ニ卒業ノ式典ヲ舉ケラル、ニ至リタルハ誠ニ欣幸ニ堪ヘサル所ナリ希クハ舊來ノ弊風ヲ蟬脱シ産婆ノ新意義ヲ自覺シ且ツ常ニ人格ノ修養ヲ怠ルコトナク以テ其使命ヲ全フセラレンコトヲ

大正十一年四月七日

東京府知事從三位勳二等 宇佐美 勝夫

卒業生左ノ如シ (い、ろ、は、順)

板子クニ 本間サキ 田中イチ 牧野文美 小關おせい 佐藤しげ

(四) 看護法講習科卒業式

◎十一月十四日 午後二時半ヨリ本院講堂ニ於テ左ノ順序ニ依リ第二回看護法講習科卒業證書授與式ヲ舉行セリ

四

- 一、君が代
- 二、産婆看護婦養成所報告 (事務長)
- 三、卒業證書授與 (所長)
- 四、賛助婦人會記念品及無缺席者ニ本所ノ賞品授與(井上侯爵夫人)
- 五、所長訓辭
- 六、來賓祝辭 (東京府知事(代讀))
- 七、卒業生總代答辭 (長岡久米)
- 八、金剛石の歌

來賓ハ東京府知事代理、本院評議員、理事、監事、賛助婦人會々員及卒業生保證人等ナリ

東京府知事ノ祝辭左ノ如シ

國民ノ福利増進ヲ圖ルニ方リテハ先ツ疾病治療機關ノ設備完成ニ俟ツヘキ所最モ多シ而シテ患者看護法ノ進歩如何ハ治療ニ重大ノ關係ヲ有ス本院ハ夙ニ産婆看護婦養成所ヲ開設シ本日爰ニ第二回ノ卒業

式ヲ舉行シ新ニ十有七名ノ卒業生ヲ斯界ニ出サントス國家社會ノ爲メ各位ト共ニ慶賀スル所ナリ
卒業生諸氏ハ今後本務ニ精勵スルト共ニ益々人格ノ修養ヲ積ミ本院所期ノ目的ヲ助成セラレンコトヲ希フ一言ヲ述ヘテ祝辭トナス

大正十一年十一月十四日

東京府知事 宇佐美勝夫

卒業生左ノ如シ (い、ろ、は、順)

- | | | | | | |
|----------------------------|-------|-------|----------------------------|-------|-------|
| 板倉ウメヨ | 林田 ムメ | 富永 シヅ | 金木はさ <small>(無缺席者)</small> | 川田 ゆう | 長岡 久米 |
| 中村 潔 <small>(無缺席者)</small> | 中村ツル子 | 梅野イサノ | 上野けさ | 熊谷 博 | 福島 こう |
| 小林 さく | 佐々木ヨリ | 佐藤 トワ | 齋藤ユキ | 宮内美代笠 | |
- (五) 看護婦、同講習生異動

年次	區別		看護婦取締	看護婦	第一回生	第二回生	第三回生	第四回生	見習生	合計
	大正十年十二月現在	大正十一年十二月現在								
本年	就職	一	一	一	一	一	一	一	一	一
本年	退職	一	一	一	一	一	一	一	一	一
大正十一年十二月現在	就職	一	一	一	一	一	一	一	一	一
大正十一年十二月現在	退職	一	一	一	一	一	一	一	一	一
大正十一年十二月現在	合計	一	一	一	一	一	一	一	一	一

五

泉橋慈善病院賛助婦人會報告

第三 (大正十一年)

(六) 看護婦ノ外勤

◎本年度モ猶外勤部ヲ設立スルヲ得ザリシガ止ムヲ得ザル筋ノ申込ニ限り派出セリ其成績概要左ノ如シ
看護婦延數 二名 依頼先 二家 外勤日數二十六日 一人平均外勤日數 十三日強

(七) 看護婦及同講習生轉地保養

◎昨冬ヨリ引續キ神奈川縣三浦郡三崎町城ケ島石橋友七氏ノ新築家屋ヲ借り受ケ病氣保養ヲ要スル者及
暑中休暇中志望者ヲ相互交代シテ保養セシメタリ
右保養所費用中へ賛助婦人會ヨリ金百五拾圓ヲ寄贈セラレタリ

(八) 經費

◎大正十一年度經費ノ内譯竝ニ豫算及十二年度豫算額ノ對比左ノ如シ

科目	對比	大正十一年度豫算額	同上決算額	大正十二年度豫算額
看護法講習生手當		四、五八〇〇〇	五、〇九〇六	四、〇〇〇〇〇
同 講習生賄料		五、一四五〇〇	五、九七七八〇	四、八七〇〇〇
看護服新調費		六、〇〇〇	七、〇六二	六、〇〇〇〇
同上洗濯及補修費		五、四〇〇〇	六、七三九	一、五〇〇〇〇
講習諸費		二、五〇〇〇〇	一、七八二五三	二、五〇〇〇〇〇
合計		二二、四二五〇〇	二四、二二二九	二一、五六〇〇〇

(六) 看護婦ノ外勤

◎本年度モ猶外勤部ヲ設立スルヲ得ザリシガ止ムヲ得ザル筋ノ申込ニ限リ派出セリ其成績概要左ノ如シ
看護婦延數 二名 依頼先 二家 外勤日數二十六日 一人平均外勤日數 十三日強

(七) 看護婦及同講習生轉地保養

◎昨冬ヨリ引續キ神奈川縣三浦郡三崎町城ケ島石橋友七氏ノ新築家屋ヲ借り受ケ病氣保養ヲ要スル者及
暑中休暇中志望者ヲ相互交代シテ保養セシメタリ
右保養所費用中へ贊助婦人會ヨリ金百五拾圓ヲ寄贈セラレタリ

(八) 經費

◎大正十一年度經費ノ内譯竝ニ豫算及十二年度豫算額ノ對比左ノ如シ

科目	對比	大正十一年度豫算額	同上決算額	大正十二年度豫算額
看護法講習生手當		四、五八〇〇〇	五、〇七六四	四、〇〇〇〇
同 講習生助料		五、二四五〇	五、九七六〇	四、二八〇〇
看護服新調費		六、六〇〇	七、六三九	六、七〇〇
同上洗濯及補修費		五、四〇〇	六、七〇四	一、五〇〇
講習諸費		二、五〇〇	一、七六三	二、五〇〇
合計		二四、四二〇	二四、二一九	二一、五九〇

泉橋慈善病院贊助婦人會報告

第三

(大正十一年)

露光量違いの為重複撮影



地番一町家相臨田錦市京東
所談相人病院善慈橋泉
會人助助員

泉橋慈善病院賛助婦人會規約

第一條 本會ハ財団法人泉橋慈善病院設立ノ趣旨ヲ翼賛シ其事業ヲ補助スルヲ以テ目的トス

第二條 本會ヲ泉橋慈善病院賛助婦人會ト稱シ其事務所ヲ財団法人泉橋慈善病院内ニ置ク

第三條 第一條ノ目的ヲ賛成スル婦人ヲ以テ會員トス

第四條 本會ニ左ノ職員ヲ置ク

會長 壹名

本會ヲ代表シ一切ノ會務ヲ總理シ常議員會ノ議長トナル

副會長 參名以内

會長ヲ佐ケ會長差支アルトキハ副會長ノ内壹名其職務ヲ代理ス

幹事 五名以内

會長ノ旨ヲ受ケ會務ヲ掌理ス

顧問

泉橋慈善病院評議員、理事、監事、病院長、副院長ニ會長ヨリ囑託シ本會ニ於ケル重要ナル事件ノ協議ニ參與スルモノトス

主事 壹名

泉橋慈善病院事務長ニ會長ヨリ囑託スルモノトス

書記 若干名

上長ノ命ヲ受ケ會務ニ從事ス

第五條 本會ニ常議員若干名ヲ置キ會員中ヨリ泉橋慈善病院評議

員會長之ヲ囑託ス

第六條 會長及副會長ハ常議員ノ互選ニ依ル

幹事ハ常議員中ヨリ會長之ヲ囑託ス

第七條 會長、副會長、常議員及幹事ノ任期ハ貳年トス但シ重任ヲ妨グズ

第八條 本會ハ毎年四月總會ヲ開キ一年間ノ事業及會計ヲ報告ス

二月、九月、十一月ノ三回常會ヲ開キ左ノ事項ヲ舉行ス但シ會場ハ毎回泉橋慈善病院内トス

(イ) 病院當事者ヨリ病院ノ現況ヲ聴取シ兼テ入院患者ヲ慰問ス

(ロ) 講師ヲ聘シテ慈善救済ニ關スル講話ヲ聴クコト

(ハ) 本會ノ目的ヲ遂行スルニ必要ナル方法ニ就テ協議スルコト

第九條 常議員會及幹事會ハ必要ニ應ジテ會長之ヲ招集ス

第十條 會員ハ五ヶ年ヲ壹期トシ會費トシテ該期間毎年壹口金拾貳圓ヲ離出ス但シ一人ニテ數口ヲ離出スルコトヲ得

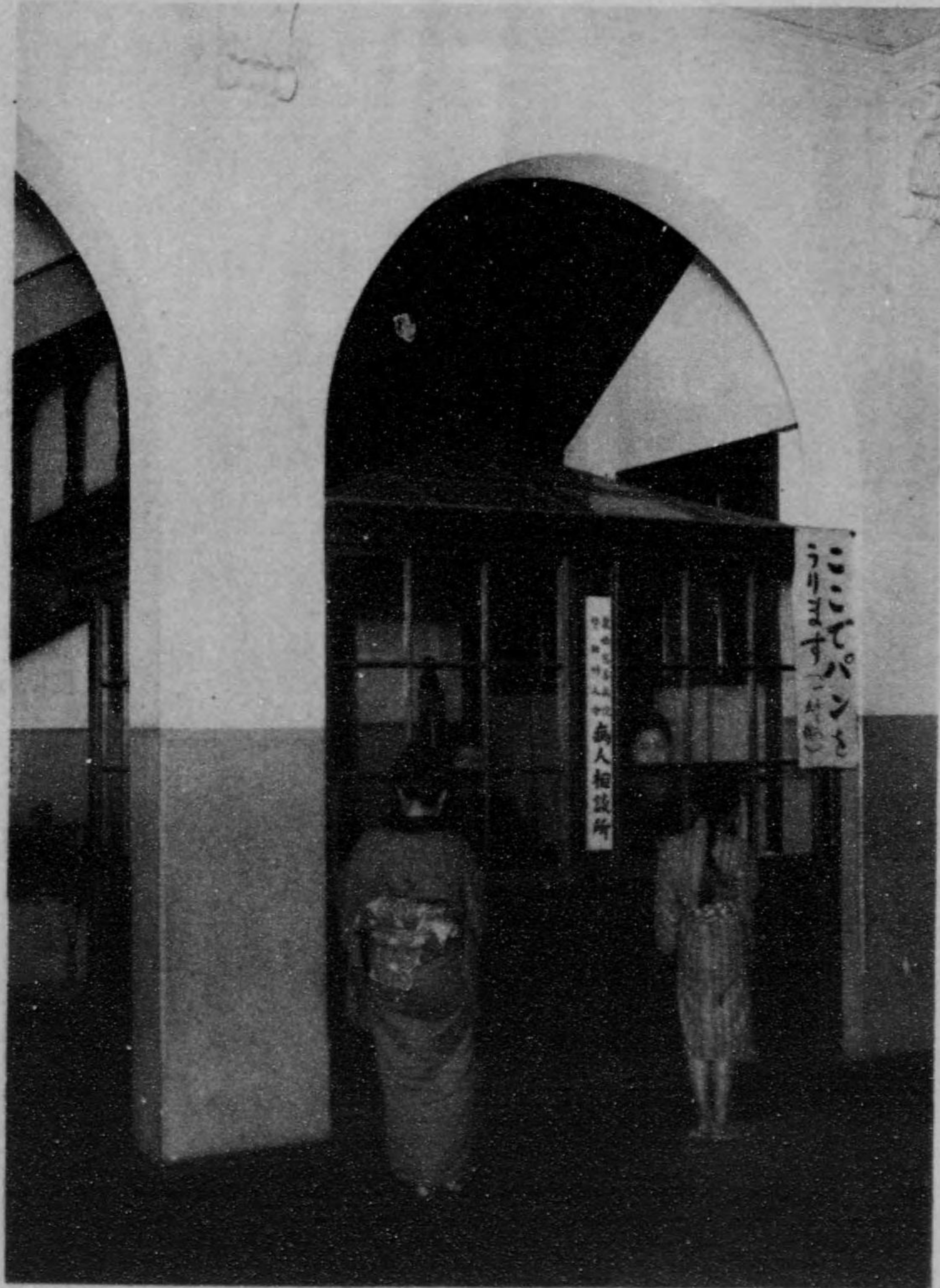
壹期ヲ終リタル時ハ更ニ其離出口數ヲ定ムルモノトス

第十一條 會費ハ壹年貳回之ヲ離出スルモノトス

第十二條 本會ハ特志家ヨリ金品ノ寄附ヲ受クルコトヲ得

第十三條 男子ニシテ本會ノ趣旨ヲ賛成スル者ハ之ヲ賛成員ト稱ス其會費ハ第十條ノ規定ニ依ル

第十四條 賛成員ハ本會ノ總會及常會ニ出席スルコトヲ得



地番一町泉和區田神市京東
院病善慈橋泉
會人婦助贊
所談相人病

泉橋慈善病院贊助人會規約

第一條 本會ハ財團法人泉橋慈善病院設立ノ總旨ヲ實踐シ其事業ヲ補助スルヲ以テ目的トス
 第二條 本會ハ泉橋慈善病院贊助人會ト稱シ其事務所ヲ財團法人泉橋慈善病院內ニ置ク
 第三條 第一條ノ目的ヲ達成スル爲メ人ヲ以テ會員トス
 第四條 本會ニ定メル職員トシテ
 會 長 一名
 副 會 長 一名以內
 會 員 在ク會長選出アルトキハ副會長ノ內數名其職務ヲ代理ス
 會 長 ノ任ヲ受ク會務ヲ掌理ス
 第五條 泉橋慈善病院贊助人會長ヨリ選出スルモトス
 第六條 泉橋慈善病院贊助人會長ヨリ選出スルモトス
 第七條 泉橋慈善病院贊助人會長ヨリ選出スルモトス
 第八條 泉橋慈善病院贊助人會長ヨリ選出スルモトス
 第九條 泉橋慈善病院贊助人會長ヨリ選出スルモトス
 第十條 泉橋慈善病院贊助人會長ヨリ選出スルモトス
 第十一條 泉橋慈善病院贊助人會長ヨリ選出スルモトス
 第十二條 泉橋慈善病院贊助人會長ヨリ選出スルモトス
 第十三條 泉橋慈善病院贊助人會長ヨリ選出スルモトス
 第十四條 泉橋慈善病院贊助人會長ヨリ選出スルモトス

員會長之ヲ囑託ス

第六條 會長及副會長ハ常議員ノ互選ニ依リ
 幹事ハ常議員中ヨリ會長之ヲ囑託ス
 第七條 會長、副會長、常議員及幹事ノ任期ハ貳年トス但シ連任ヲ妨グズ
 第八條 本會ハ毎年四月總會ヲ開キ一年間ノ事業及會計ノ報告ヲナス
 二月、九月、十一月ノ三回常會ヲ開キ左ノ事項ヲ審議ス但シ會場ハ毎回泉橋慈善病院內トス
 (一) 泉橋慈善病院ノ現況ヲ詳取シ並ニ入院患者ヲ點檢ス
 (二) 泉橋慈善病院ノ慈善救濟ニ關スル決議ヲ議決ス
 (三) 本會ノ目的ヲ遂行スルニ必要ナル方法ニ決シ並ニ協議スルモト
 第九條 常議員會及幹事會ハ必要ニ應ジテ會長之ヲ招集ス
 第十條 會員ハ五ヶ年ヲ會期トシ會費トシテ該期間毎年度員會給取額ヲ抽出ス但シ一人ニテ數口ヲ抽出スルコトヲ得
 第十一條 會費ハ會期毎年度之ヲ抽出スルモトス
 第十二條 本會ハ慈善家ヨリ物品ノ寄附ヲ受ケルコトヲ得
 第十三條 專子ニシテ本會ノ慈善事業ニ賛成スル者ハ之ヲ贊成員ト稱ス其會費ハ第十條ノ規定ニ依ル
 第十四條 贊成員ハ本會ノ總會及常會ニ出席スルコトヲ得

附錄第二

賛助婦人會報告

(一) 役員

會長

井上末子

(大正十一年四月七日再選重任)

副會長

澁澤兼子

(同) 上

副會長

三井苞子

(同) 上

幹事

岡田德子

(同) 上

幹事

團芳子

(同) 上

常議員

(大正十一年四月七日本院評議員會長ヨリ囑託重任)

井上末子

澁澤兼子

三井苞子

岡田德子

土肥多越子

入澤常子

三井曉子

三井五十子

三井榮子

團芳子

早川里子

藤瀬ヒデ子

山田久子

池田艶子

顧問

侯爵井上勝之助	佐藤三吉	子爵澁澤榮一	男爵三井八郎右衛門
岡田和一郎	土肥慶藏	入澤達吉	男爵益田孝
團琢磨	三井元之助	三井源右衛門	田代義徳 <small>(務專)</small>
石川八十井	船尾榮太郎 <small>(務專)</small>	木村徳衛	有賀長文
藤井市三郎	中泉行徳	井上成美	田所喜久馬
青山徹藏	福士政一	溝口恒輔	平松濤平
笠森周護	太田孝之	保利清	前田安之助
主事溝口恒輔		會計主任 徳澤治	

(二) 常議員會

◎四月七日 午前十時本院ニ於テ開會
出席者、岡田、團、兩幹事、山田、池田、各常議員、三井(源右衛門)、田代、石川、船尾、木村各顧問、溝口主事、徳澤會計主任
決議事項ノ主ナルモノ左ノ如シ

一、役員改選ノ件

(三) 總會

◎四月七日 午前十時本院記念式ニ引續キ左ノ順序ニ依リ總會ヲ行フ

- 一、事業報告 田代專務顧問
 - 二、役員改選及協議
 - 三、講話 (死亡統計ニ現ハレタル日本婦人ノ特徴) 二階堂保則氏
 - 四、閉會
 - 五、茶菓
 - 六、院内隨意參觀
- 來賓、(本院記念式記事參照)

(四) 例會

◎五月廿七日 午後三時ヨリ井上侯爵邸ニ於テ左ノ順序ニ依リ例會ヲ行フ

- 一、井上侯爵ノ挨拶
- 二、協議 (一、各科部長ニ顧問囑託ノ件)
(二、乳厨設備ノ件)

三、講 話 (乳兒ノ保護ニ就テ)

醫學博士 太田孝之氏

四

四、茶 菓

五、庭園散步

六、解 散

來賓、顧問、會員、本院職員看護婦等

◎十一月十四日 本院附屬產婆看護婦養成所卒業式後左ノ順序ニ依リ例會ヲ行フ

一、會務報告

田代專務顧問

二、講 話 (歐米婦人社會ノ現況)

岡 田 顧 問

三、院 歌

四、閉 會

五、茶 菓

六、乳廚設備巡覽

來賓、顧問、會員等

決議事項左ノ如シ

一、船尾顧問ニ專務囑託ノ件

(五) 事業報告

一、泉橋慈善病院ニ入院セル妊産婦及小兒ヲ一日平均各二名宛一日一人金壹圓貳拾錢ノ豫算ヲ以テ本會之ヲ引受ケ其ノ費用ヲ支辨ス

二、入院患者ニ要スル手拭、齒磨、楊枝、淺草紙、産兒ニ要スル襁褓等ヲ買辨支給シ又吸入器ヲ病人相談所ニ備ヘ置キ必要ニ應ジ之ヲ外來患者ニ貸與スルコト等前年ノ如シ

三、乳廚ヲ設置シ營養不良ノ入院患者ニ給與ス

四、本院看護婦及同講習生ノ轉地保養所費用中へ金百五拾圓也ヲ寄贈セリ

五、四月七日 本院第二回産婆講習科卒業生六名及十一月十四日本院第二回看護法講習科卒業生十七名ニ記念品ヲ授與セリ

六、十二月六日 本年六月十四日附ヲ以テ泉橋慈善病院患者救療費寄附ニ關シ東京府知事ヨリ褒章條例ニ依リ表彰セラル

七、本年一月ヨリ十二月末日マデニ病人相談所ニテ取扱ヒタル件數左ノ如シ

五

入院希望ニツキテ	二二〇	外來ニテ死亡セシ患者ノ所置ニツキテ	一
肺病患者ノ所置ニツキテ	九一	地方ヨリ本院ヲ頼リテ來リシモノ、所置ニツキテ	一一
養生法ニツキテ	二五	引受人トナリシモノ	一
身ノ上ニツキテ	一二	入院患者ニ金子ヲ與ヘシモノ	一
子供ノ所置ニツキテ	九	入院患者ヲ慰問セシモノ	五九
職業ニツキテ	五	入院患者ノ留守宅ヲ訪問セシモノ	二〇
服藥法ニツキテ	五	入院患者ノ代筆ヲ頼マレシモノ	二九
代筆ヲ頼マレシモノ	九	慈惠資金ヲ分與セシモノ	一七
葬祭料ヲ與ヘシモノ	二	産婦退院ノ節乗車ノ世話ヲナセシモノ	一六〇
退院ヲ命ゼラレシ患者ノ所置ニツキテ	四	合 計	六八二
コルセツトノ費用ヲ補ヒシモノ	一		

(六) 會員、賛成員、入退並現在數
 大正十一年中ニ於ケル入會者ハ會員四名二十口、退會者ハ會員二名六口ニシテ十二月末日現在會員九十一名賛成員五名合計九十六名四百五十九口ナリ

(七) 會 計

大正十二年度收支豫算

收入	十二年度豫算	十一年度豫算	十一年度實收入
總額	10,741-70	10,741-04	10,741-31
會 費	5,508-00	5,280-00	5,496-00
特別寄附金	0	0	100-00
預金 利子	250-00	100-00	36-00
前年度繰越	4,983-70	4,891-04	4,891-04
支出	十二年度豫算	十一年度豫算	十一年度實支出
總額	10,741-71	10,741-04	10,741-31

救療費	患者用品費	慰安費	書記手當	賞品	慰勞金	集會費	集會費	備用品費	帳簿及類	印刷費	通信費	建築費
一七五	七	二七〇	二四〇	六	二〇〇	三三	一四〇	一〇〇	二〇	二〇四	九〇	
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
入院患者一日四人此延日數千四百六十日一人一日金壹圓貳拾錢	手拭、齒磨、楊枝、淺草紙等	入院患者慰問二回及看護婦夏期轉地保養費補助	月給八拾圓一人、七拾圓一人、五十圓一人	產婆及看護法講習科卒業者二記念品	書記年末慰勞金	年二回會費集金	總會及常會(三回)諸費	十一年度ニ支出多額ナルハ乳厨用器具等購入ニ由ル	電話料及郵稅	十一年度支出ニ於テ多額ナルハ急設費支出ニ由ル		
一七五	六〇	二五〇	一三〇	六三	二一五	三五	二〇〇	六〇	二五	一八〇	三〇	
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
一七五	五三	二二九	一五九	六〇	八五	一五	六六	六五	四	一八四	六四	四六七
九〇	六五	〇〇	〇二	五〇	〇〇	六三	二〇	二七	八四	九五	六三	七〇

雜費	支出小計	積立金
三〇	五四九	五二五
〇〇	〇〇	七一
三〇	四一〇	六二七
〇〇	〇〇	〇四
一八	五七四	四九六
三五	五三	七〇

大正十一年度(自大正十一年四月一日至同十二年三月卅一日)決算報告

一金壹萬七百拾參圓貳拾貳錢

收入

收入總額

金五千四百九拾六圓也

金百圓也

金貳百貳拾六圓拾八錢

金四千八百九拾壹圓四錢

支出

一金五千七百四拾六圓五拾貳錢

支出總額

會費
特別寄附
預金利息
前年度繰越
支出總額

144
178

金壹千七百五拾貳圓九拾錢
 金五拾貳圓六拾五錢
 金貳百參拾九圓也
 金壹千五百參拾九圓壹錢
 金六拾圓五拾錢
 金八拾五圓也
 金拾五圓六拾貳錢
 金六拾六圓貳拾錢
 金六百九拾五圓拾七錢
 金四圓八拾四錢
 金百八拾四圓九拾五錢
 金五百六拾四圓六拾參錢
 金四百六拾七圓七拾錢
 金拾八圓參拾五錢
 差引殘金四千九百六拾六圓七拾錢

救 療 費
 患 者 需 用 品 費
 慰 安 費
 書 記 手 當 費
 賞 勞 金 品 當 費
 慰 勞 金 費
 集 會 費
 集 會 費
 備 品 費
 帳 簿 文 具 類 費
 印 刷 費
 電 話 費
 建 築 費
 雜 費
 次 年 度 二 線 越

1464
178

終

